

## 第71回日本食道学会学術集会について



第71回日本食道学会学術集会 会長

小山 恒男

(佐久医療センター内視鏡内科)

日本食道学会の皆様、第71回日本食道学会学術集会を6月14～16日の日程で軽井沢プリンスホテルにて開催致します。

食道癌に代表される食道疾患と戦うには、状況を冷静に分析することが重要であり、時には一旦退き、体制を立て直すことが必要です。そこで、第71回日本食道学会学術集会では「進む勇気と退く沈勇」をメインテーマとしました。

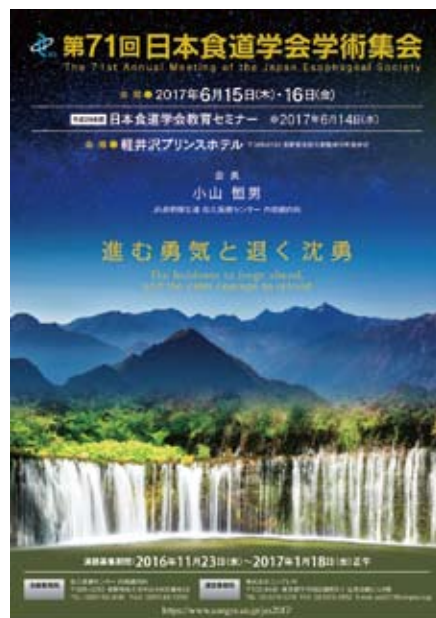
日本食道学会は会員数の8割弱が外科という外科系学会です。このため、非外科の会長は4年に1回のチャンスしかありません。食道疾患には、癌以外に運動機能障害や好酸球性食道炎など、多くの内科的疾患があります。また王道である食道癌の診断には病理が不可欠であり、治療に対しても各種放射線療法や化学療法が重要な位置を占めるようになりました。食道疾患の診断治療における非外科の重要性は、以前にもまして増加しつつあります。

そこで、第71回日本食道学会学術集会では、外科的テーマとして「胸腔鏡下食道切除の定型化」、「サルベージ手術の成績と問題点」、「良性疾患の外科治療」をとりあげました。また、地域における食道癌診療の現状を探るため「一般・地域病院における食道癌診療の現状と課題」を企画したところ、たいへん多くの演題を頂戴することができました。一方、非外科のテーマとして「好酸球性食道炎を解明する」、「今B2血管を見直す」、「食道内圧検査は臨床を変えるか?」を、さらには International symposium として「Endoscopic diagnosis and treatment for Barrett's esophageal cancer」、

「Endoscopic diagnosis and treatment for SCC in Asia」を取り上げました。ドイツから Pro. Messmann を、韓国から Pro. Young を、そして台湾から Pro. Wang を招聘し、各国の最先端の現状を講演していただきます。

この結果、800 演題を越える応募を頂きました。当日は 1000 名を越える外科、内科、放射線科、病理、小児科医が全国から集います。ポスター発表だけで 640 演題を越えており、食道学を愛する会員にとって、夢のような 2 日間になるでしょう。小さな所帯での運営であり、行き届かぬこともあるかと思いますが、充実した学会となるよう、精一杯の準備をいたします。

新緑の軽井沢にはゴルフやテニスなど、魅力が沢山ありますが、学会期間中は勉強に集中できるよう、スタッフ一同で雨乞いを行いつつ皆様をお迎えいたします。どうぞ、よろしくお願いたします。



## お知らせ

## 平成29(2017)年度教育セミナー開催のお知らせ

平成29(2017)年度日本食道学会学術集会教育セミナーを下記の通り開催いたします。

- 【日 時】 平成29(2017)年6月14日(水) 午後3時～6時
- 【会 場】 軽井沢プリンスホテルウエスト 浅間ABCDE(第1会場)  
〒389-0193 長野県北佐久郡軽井沢町軽井沢 TEL 0267-42-1111(代表)
- 【受講料】 事前申込み 4,000円(テキスト、受講証含む) ※受付期間5月1日～5月31日  
当日申込み 5,000円(テキスト、受講証含む)
- 【セッション】 1. 食道がんに対する胸腔鏡下食道切除術(国立がん研究センター 食道外科 大幸 宏幸 先生)  
2. 頭頸部癌と食道癌(久留米大学医学部 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 梅野 博仁 先生)  
3. 胃食道逆流症の診断と内科的治療(東北大学病院 消化器内科・消化器内視鏡センター 小池 智幸 先生)  
4. 頸部・縦隔MRIを用いた進行食道癌の周囲臓器浸潤の診断(恵佑会札幌病院 放射線診断科 小野寺 祐也 先生)  
5. バレット食道とバレット癌の病理(東京都健康長寿医療センター研究所 病理診断科 田久保 海誉 先生)  
6. 食道癌に対する化学療法(千葉県がんセンター 臨床試験推進部 廣中 秀一 先生)

学術集会参加者は聴講(無料、テキスト・受講証なし、事前申込み不要)という形で、ご参加いただけます。詳しくは本学会HP([http://www.esophagus.jp/private/information/news\\_20170310.html](http://www.esophagus.jp/private/information/news_20170310.html))をご参照ください。





2018年以降の学術集会のご案内

第73回日本食道学会学術集会の開催について



九州がんセンター 消化管外科  
藤 也寸志

昨年、日本食道学会学術集会の次期副会長を拝命いたしました。下記のごとく2019年の第73回学術集会を担当させていただく予定です。どうぞよろしくお願い申し上げます。

私は、2年の外科研修の後、基礎大学院を含めて10年以上分子生物学的研究に専従し、40歳直前で食道外科医の修練を始めました。それ以後、日本食道疾患研究会・日本食道学会の皆様にて育ていただき、現在はがん専門診療施設の院長として、がん医療政策の策定、がん診療連携拠点病院活動や経営管理などに広く関わっています。このような経歴を背景として、「『病む人やその家族の気持ちに寄り添えるような食道学のさらなる発展』に繋がる新しい展開は何か、そのための土壌作りはどうすればよいか」を考える学術集会にしたいと思っております。皆様のご指導

◆ 第72回日本食道学会学術集会

会長：加藤 広行(獨協医科大学第一外科学教室)  
会期：2018年6月27日(水)～29日(金)  
会場：ホテル東日本宇都宮

◆ 第73回日本食道学会学術集会

会長：藤 也寸志(九州がんセンター消化管外科)  
会期：2019年6月5日(水)～7日(金)  
会場：福岡国際会議場

\*編集後記

食道疾患に対する診療は、極めて専門的な知識と技術が必要とされる領域です。これまで多くの優れた先人が築いてこられた知見のお蔭で現在の診療があり、われわれは日々その基盤に支えられて仕事ができています。

これからも、少しずつエビデンスを積み上げていくためには、日々の地道な活動を継続していく必要があります。それには多職種の協力が極めて重要で、若い医師、さらに医師以外のメディカル・スタッフに本領域の活動に参加していただくかなければなりません。素晴らしい企画で構成された本年度の総会にできる限り多くの皆様のご参加をお願いいたします。そして是非、準会員を含めた会員の増加に取り組んでいきましょう。

広報委員会 委員長 猶本良夫  
委員 有馬美和子、出江洋介、熊谷洋一、  
竹内裕也、奈良智之、前原喜彦、  
白川靖博、山崎 誠、山辻知樹、  
村上健太郎

特定非営利活動法人 日本食道学会 事務局

〒130-0012  
東京都墨田区太平2-3-13 廣瀬ビルディング4階  
電話・FAX 03-6456-1339  
e-mail: office@esophagus.jp  
ホームページ <http://www.esophagus.jp/>